

地域ネットワークニュース

～平成25年10月の勉強会のお知らせ & 9月の勉強会報告～

第189回 地域ネットワーク勉強会

相談援助スキルアップ！

～聞き出す力を身に付けよう～



10月29日(火)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内

参加費無料

講師：神栖ケアサポートセンター 管理者 土井真理氏

対人援助職は、クライアント（相談者）が生きる過程で生じる、対処しなければならない様々な問題に直面しています。相談対応時にクライアントの個別の感情や考え方、環境状況を把握せずに表面上に現れたニーズだけを捉え、その解決だけを急いでしまうと根本的な解決には向かいません。

クライアントは自分の問題を解決する強さを持っていますが、様々な課題などによりその強さを発揮できない状況に陥ってしまいます。このような状況を解決するためにクライアント自身の意向を尊重し、『強さ』や『力』が発揮できるような取り組みが求められます。

そこで今回の勉強会では、神栖ケアサポートセンターより土井真理さんを講師にお招きしインタビュー（初回面接）場面での対応方法や相談者との関係作りなど、『聞く』だけでなく『聞き出す』技術について実践事例を通してお話し頂きます。

対人援助職のみなさん、ぜひご参加下さい！！

お問い合わせ：神栖市社会福祉協議会 地域福祉推進センター 担当：飯田 電話 0299-93-0294



第188回 地域ネットワーク勉強会報告 9月18日開催<参加者73名>

子どもの精神疾患について～子どもの精神発達を理解しよう～

講師：公益財団法人鹿島病院 精神科医 佐藤奈美氏

子どもにとって大切なもの、子どもの心の発達を助けるものについて、子どもの心の代弁者として、子どもたちが大人に知って欲しいと思っていることを感じる事ができた今回の勉強会。子どもと大人の違いは、心も身体も成長・発達の途中で、ストレスを感じても大人のように認識できないし、適切に訴えることはできない。また、自信がなくて不安の強い子どもが増えている状況であり、家や社会（学校）に居場所があることが大切なんです。※居場所とは「安心して過ごせる人と場所の療法のこと」。

子どもを育てるためには、知識と全人的理解と大人の自己管理が必要です。ひとりの子どもにより多くの大人が関わり、気づいたら放置しない、抱え込まないこと、発達を促せる大人が必要なんです。と、鹿島病院精神科医 佐藤奈美さんから参加者に伝えて頂きました。